

一般質問

■文化・スポーツを活かした施策について  
**七尾城跡整備の具体的な方向性は？**

質

①「これから目玉にしていくのは、文化・スポーツ事業だ」との新聞紙上での市長の新年コメントの背景にある思いを伺う。

②令和3年3月末に策定が完了する史跡七尾城跡整備基本計画では、今後の具体的な整備活用の方角性はどのように示されたのか伺う。

③七尾城跡の整備へのガバメントクラウドファンディングの導入についての考えを伺う。

答

①国は観光庁・文化庁・スポーツ庁の3庁連携により、インバウンドの拡大に動き出している。七尾市も観光・文化・スポーツコミッションの観点で、文化やスポーツ、地域資源を活かした新たな交流人口の拡大を図りたい。

②整備基本計画は、令和3年度から12年度までの10年間を計画期間とし、史跡指定の中心部約27ヘクタールに加え、整備中の七尾城登山口駐車場や七尾城址資料館を含む約30ヘクタールを整備対象としている。

③クラウドファンディングは、市外、県外の方の共感を得るのに有効だ。共感を得る形のものをつくり取り組んでいく。

史跡七尾城跡整備基本計画（主な内容）

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>七尾城登山口駐車場の整備の完了</li> <li>樹木伐採や枝打ちによる城跡の見える化</li> <li>案内看板設置等による来訪者の利便性向上</li> </ul>
令和3年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>九尺石などの石垣の復旧</li> <li>大手道の遺構の展示</li> <li>発掘調査結果を踏まえた建物の立体復元の検討</li> </ul>



荒川 一義 議員 (無党派)



七尾城跡の発掘調査の様子

一般質問

■和倉温泉へのアクセス・回遊性について  
**市道と倉2号線の進捗状況と整備効果は？**



中西 庸介 議員 (新政会)



整備予定の和倉2号線

質

市道と倉2号線は奥原の変則5差路から湯元をつなぐ主要道路のひとつに位置付けられている。平成10年2月の大雪で観光バス等が立ち往生しパニックになったため、回遊できる道路の早急な整備を求めたことを思い出す。

あれから10年。いまだに整備の遅れを感じる。そこで、整備の進捗状況と今後の見通し、回遊性が生まれることの効果について伺う。

答

変則5差路の和倉温泉西交差点から湾岸道路側の約550m区間の整備は完了しており、残りの約300m区間の整備を進め、令和3年度中に完了する見込みである。

今後の課題は、カキ小屋付近の用地買収予定地に共有地があり、全員の承諾を得ることに時間を要すると想定されるが、関係者と協議し、課題をクリアし、早期完成に向けて取り組む。回遊性が生まれると、観光客の利便性が向上し、大型車の通行や災害時の緊急避難路としてネットワーク機能が強化され、温泉街の賑わい創出にも寄与するものと考えている。



一般質問

■主要地方道七尾羽咋線の融雪工事について  
**消雪パイプの延長を！**

質

主要地方道七尾羽咋線の消雪パイプは、今年度、西藤橋市内の設置が終わり、この区間は雪が降っても交通がスムーズになった。しかし、小丸山大橋から白馬町までの区間は、のろのろ運転でなかなか進まないとの市民からの苦情をよく耳にする。

七尾市に入った途端に、路面の積雪や凍結によりスリップ事故が多発しており、消雪パイプの延長をすべきであり、石川県と協議を進めてほしい。市民の安心・安全を第一に考える市長の見解を聞く。

答

主要地方道七尾羽咋線については、令和元年度より、小丸山大橋からDCMカーマ七尾店付近の能登病院口交差点までの区間で消雪パイプ新設工事を実施している。

七尾市では、まずは能登病院口交差点から国分町の藤橋バイパス交差点までの区間の消雪パイプの設置を、平成23年度から継続して要望している。

中能登町との境の白馬町から国分町の区間についても、早期に事業が実施されるように、石川県に要望していきたいと考えている。



徳田 正則 議員 (新政会)



小丸山大橋から能登病院口に向かって